

修復前  
「くじら」(KIJIRA)



修復後  
「くじら」(KIJIRA)

©(公社)映像文化製作者連盟



デジタル復元で甦る

# 小津・政岡・大藤

Special Screening:  
Digitally Restored Films of  
Yasujiro Ozu, Kenzo Masaoka and Noburo Ofuji

東京国立近代美術館フィルムセンター  
National Film Center  
The National Museum of Modern Art, Tokyo

修復前  
「秋刀魚の味」



修復前  
Original

修復後  
「秋刀魚の味」



修復後  
Restored



修復前  
Original

脚本  
野田高梧  
小津安二郎



修復後  
Restored

脚本  
野田高梧  
小津安二郎

©松竹株式会社

## 政岡憲三・大藤信郎アニメーション作品 デジタル復元版特別上映会

東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール (地下1階)

2014年2月8日(土) 定員=151名(各回入替制) 発券=地下1階受付

## 小津安二郎作品 デジタル復元版特別上映会

東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール (2階)

2014年2月13日(木) - 16日(日) 定員=310名(各回入替制) 発券=2階受付

開映後の入場はできません。

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

●発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達次第締切ります。●学生・シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。●発券は各回1名につき1枚のみです。●観覧券は当日当該回のみ有効です。

フィルムセンターでは、2002年度に寄贈された『斬人斬馬剣』（伊藤大輔監督、1929年）の9.5mmフィルムの修復にデジタル技術を活用して以来、毎年、新たな技術的課題に挑みながら、映画フィルムのデジタル復元を行ってきました。今回は、生誕110年・没後50年を迎えた小津安二郎監督のカラー映画4本を松竹株式会社と共同で（2013年度）、また、政岡憲三と大藤信郎の戦中・戦後の傑作アニメーション3本を（2011-2012年度）、それぞれデジタル復元しました。とりわけ小津と大藤のカラー作品については、2009年度にデジタル復元した『銀輪』（松本俊夫・矢部正男・樋口源一郎監督、1956年）に続き、三色分解白黒ネガフィルムETERNA-RDSを用いることにより、修復の高画質性と長期保存を共に追求した取り組みを行いました。高解像度によるスキヤニングと修復、三色分解による白黒ネガ作製、光学合成によるプリント作製という修復工程と、デジタル・データ保存、白黒ネガ保存という保存工程を並行して達成した最新の映画復元の成果を、ぜひ35mmフィルム上映でご覧ください。

- 監=監督・演出 原=原作
- 脚=脚本 撮=撮影 美=美術
- 音=音楽 出=出演
- スタッフ、キャストの人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。

## 小ホール

### 政岡憲三・大藤信郎アニメーション作品 デジタル復元版特別上映会

Special Screening:  
Digitally Restored Animation Masterpieces of  
Kenzo Masaoka and Noburo Ofuji

2月8日（土）小ホール 定員=151名  
0:00pm- / 3:00pm- [英語字幕付き]  
（各回入替制 / 開映後の入場はできません）  
\*各回上映前に、研究員による復元に関するトーク（約20分）があります。

2.8 (土) 0:00 pm 3:00 pm

#### くもとちゅうりつぷ

[16分・35mm・白黒]  
※3:00pmの回は英語字幕付きでの上映

日本アニメーションの近代化に多大な功績を残した政岡の代表作。先に音楽等を録音したのち、作画をあわせるプレスコ方式を用い、横山美智子の童話を精緻な動画でミュージカル調に演出。てんとう虫の少女が蜘蛛に誘惑されるも、周囲に助けられて笑顔を取り戻す。（協力：松竹株式会社）

'43(松竹動画研究所) 監脚 政岡憲三 原 横山美智子  
音 弘田龍太郎 監画 桑田良太郎、熊川正雄

#### くじら (KUJIRA)

[9分・35mm・カラー]  
※3:00pmの回は英語字幕付きでの上映

大藤自身が1927年に製作した白黒影絵作品『鯨』を、色セロファンを用いてコニカラー方式でリメイク。大海原を漂流する三人の船乗りが同乗する女をめぐる争いが、そこに鯨が現れて彼らを呑みこんでしまう…。1953年のカンヌ国際映画祭短篇部門に出品され、ピカソに激賞された。（協力：公益社団法人 映像文化製作者連盟）

'53(大藤スタジオ) 監(作) 大藤信郎 音 塚原哲夫

#### 幽霊船 (YUUREI SEN)

[11分・35mm・カラー]

『くじら』で試みた色彩影絵表現を、初期のフジカラーフィルムを用いてさらに探求した作品。海賊船が貴族たちの船を襲撃し皆殺しにするが、後年、亡者たちの怨霊にとらわれ、滅ぼされてしまう。重ね撮りされた「白」で表現されている怨霊たちは、海賊たちの「黒」と著しいコントラストをなしている。（協力：公益社団法人 映像文化製作者連盟）

'56(大藤スタジオ) 監(作) 大藤信郎 音 平井康三郎



## 大ホール

### 小津安二郎作品デジタル復元版特別上映会

Special Screening: Digitally Restored Films of Yasujiro Ozu

大ホール 定員=310名  
2月13日（木） 3:00pm- 彼岸花 [英語字幕付き] 7:00pm- お早よう [英語字幕付き]  
2月14日（金） 3:00pm- 秋日和 [英語字幕付き] 7:00pm- 秋刀魚の味 [英語字幕付き]  
2月15日（土） 1:00pm- 秋刀魚の味 4:00pm- 彼岸花  
2月16日（日） 1:00pm- お早よう 4:00pm- 秋日和  
（各回入替制 / 開映後の入場はできません）  
\*各回上映前に、研究員による復元に関するトークとデモンストレーション映像の上映（計20分程）があります。

2.13 (木) 3:00 pm 2.15 (土) 1:00 pm 4:00 pm

#### 彼岸花

[118分・35mm・カラー]  
※2月13日（木）3:00pmの回は英語字幕付きでの上映

自分に相談もせず、結婚相手を決めた娘・節子（有馬）のふるまいに動揺する父親（佐分利）の姿を描く。節子の結婚を応援する幸子（山本）の助演も絶妙。小津最初のカラー作品で、ドイツのアグファカラーの落ち着いた発色は、以後“小津の色”として定着する。

'58(松竹大船) 監脚 小津安二郎 原 里見弴 脚 野田高梧 監 厚田雄春 美 浜田辰雄 音 斎藤高順 出 佐分利信、田中絹代、有馬稲子、久我美子、佐田啓二、高橋貞二、山本富士子、桑野みゆき、笠智衆、浪花千栄子、渡辺文雄、中村伸郎、北竜二、高橋とよ、櫻むつ子

2.13 (木) 7:00 pm 2.16 (日) 1:00 pm

#### お早よう

[94分・35mm・カラー]  
※2月13日（木）7:00pmの回は英語字幕付きでの上映

近所付き合いの小さな波風にふり回される大人たちと、テレビを買ってとねだり大人を困らせる子供たち。東京郊外の新興住宅地を舞台に、戦後の庶民生活を小津流に活写した作品で、軽さのある演出が際立っている。幼い兄弟のオナラのギャグが実に微笑ましい。

'59(松竹大船) 監脚 小津安二郎 脚 野田高梧 監 厚田雄春 美 浜田辰雄 音 黛敏郎 出 佐田啓二、久我美子、笠智衆、三宅邦子、杉村春子、設楽幸嗣、島津雅彦、東京子、高橋とよ、沢村貞子、東野英治郎、長岡輝子、三好栄子、田中春男、大泉滉、須賀不二夫、殿山泰司

2.14 (金) 3:00 pm 2.16 (日) 4:00 pm

#### 秋日和

[129分・35mm・カラー]  
※2月14日（金）3:00pmの回は英語字幕付きでの上映

亡夫の七回忌を終えた美しい未亡人（原）と、婚期を迎えた娘（司）の間に起きる小さな心の波風を繊細に描く名作。取り巻きの紳士たちのユーモアに小津の余裕に満ちた練達の技が見える。『晩春』（1949）の父娘関係を母娘に置き換えてカラー化した作品とも言える。

'60(松竹大船) 監脚 小津安二郎 原 里見弴 脚 野田高梧 監 厚田雄春 美 浜田辰雄 音 斎藤高順 出 原節子、司葉子、岡田茉莉子、佐田啓二、桑野みゆき、三上真一郎、佐分利信、笠智衆、中村伸郎、三宅邦子、沢村貞子、北竜二、渡辺文雄、千之赫子、高橋とよ

2.14 (金) 7:00 pm 2.15 (土) 1:00 pm

#### 秋刀魚の味

[113分・35mm・カラー]  
※2月14日（金）7:00pmの回は英語字幕付きでの上映

小津の遺作。男手一つで育てた娘を嫁に出す父（笠）の気持ちと嫁に行く当の娘（岩下）の心情を細やかに描き出す。仲のいい初老の紳士たち、うらぶれ老いた恩師とその娘、父の海軍時代の部下、戦後のな兄夫婦など、主筋以外の点描も余裕に満ちて見事。

'62(松竹大船) 監脚 小津安二郎 脚 野田高梧 監 厚田雄春 美 浜田辰雄 音 斎藤高順 出 岩下志麻、笠智衆、佐田啓二、岡田茉莉子、吉田輝雄、牧紀子、三上真一郎、中村伸郎、東野英治郎、三宅邦子、岸田今日子、加東大介、杉村春子、菅原通済



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟 (FIAP) の正会員です。FIAPは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6  
交通：  
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

東京国立近代美術館フィルムセンター  
National Film Center  
The National Museum of Modern Art, Tokyo



お問い合わせ：ハローダイヤル 03-5777-8600  
NFC ホームページ：<http://www.momat.go.jp/>  
NFC 携帯電話ホームページ：<http://www.momat.go.jp/nfc/>